

【別紙様式3】

再評価実施事業調査書

番号	2	事業名	道路事業		路線又は箇所名等		主要地方道越谷流山線バイパス (仮称)三郷流山橋		
事業所管課		道路整備課		事業主体		千葉県			
事業化年度	平成25年度	用地着手年度	平成26年度	工事着手年度	平成30年度	再評価の理由	再評価		
				工事終了(認可)年度	令和4年度				
費用便益比 B/C	3.4 (14.0)	総費用	215億円 (53億円)	総便益	738億円 (738億円)	基準年	令和 2年度	供用開始 年度	令和 5年度

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

【事業概要】

本事業は、千葉県流山市と埼玉県三郷市の県境にある江戸川を渡河する新設橋梁（仮称）三郷流山橋とその前後の千葉県側取付部及び埼玉県側取付部の整備を、流山市域内の交通混雑の緩和、幹線道路ネットワークの整備による地域活力の向上を目的に、平成25年度より埼玉県と共同で進めている。

平成30年から有料道路事業を導入し、令和4年度の工事完成を目指している。

- ・総事業費：212億円
- ・事業延長：L=1.96km（埼玉県区間：0.68km、江戸川渡河部区間：0.45km、千葉県区間：0.83km）
- ・事業期間：平成25年度～令和4年度

【事業の進捗状況】

令和2年度末の進捗率

事業進捗率：64%（千葉県51%）

用地進捗率：100%

【社会経済情勢等】

- ・千葉県流山市、埼玉県三郷市は、つくばエクスプレスの沿線開発に伴い人口が増加しており、人口増加に伴い両市において交通需要が増加している。
- ・つくばエクスプレス沿線地域の開発が進む一方で、流山市街地と三郷市街地の両地域の境には江戸川があるため、両地域間の交流・連携の阻害要因となっている。
- ・両地域を結ぶ江戸川橋梁は流山橋1橋のみであるため、交通が流山橋に集中しており、慢性的な渋滞が生じている。

【対応方針（案）】

継続

費用便益比（B/C）が事業全体で3.4、残事業で14.0であることから、費用対効果が見込まれ、また、流山市域内の交通混雑の緩和、幹線道路ネットワークの整備による地域活力の向上の整備効果が期待される。供用目標を公表し、着実に事業を推進していることから、事業を継続し、効果の早期発現を目指す。

【別紙様式 5】

再評価事業に関する調書

番 号	2	事 業 名	道路事業	路線又は箇所名等	主要地方道越谷流山線 ハイパス (仮称)三郷流山橋	
事業化年度	平成 25 度	用地着手年度	平成 26 年度	工事着手年度	平成 29 年度	

【再評価（H30年度）の概要】

事前評価実施年度 (基準年)	平成 30 年度	供用開始年度	令和 4 年度	対応方針	継続
B/C	3.8 (6.5)	総費用	162 億円 (95 億円)	総便益	616 億円 (616 億円)

(※上段：全体事業 下段 ()：残事業)

事前評価時の委員会の意見及び当時の状況
・継続することが妥当である。

事前評価時の進捗状況及び再評価時想定 of 5 年後の進捗状況

	計 画	進捗状況	5 年後の想定進捗状況
全体事業費	170 億円	69.7 億円 (41%)	170 億円 (100%)
用地取得面積	40,987m ²	40,987m ² (100%)	40,987m ² (100%)
供用面積 (延長)	1,960m	0m (0%)	1,960m (100%)

【再評価（R2年度）の概要】

再評価実施年度 (基準年)	令和 2 年度	供用開始年度	令和 5 年度	対応方針	継続
B/C	3.4 (14.0)	総費用	215 億円 (53 億円)	総便益	738 億円 (738 億円)

(※上段：全体事業 下段 ()：残事業)

現在の進捗状況

	計 画	進捗状況 (令和元年度末)
全体事業費	212 億円	136 億円 (64%)
用地取得面積	40,987m ²	40,987m ² (100%)
供用面積 (延長)	1,960m	0m (0%)

再評価後の
経過
及び
処理状況